



松明

(平成29年5月発行・隔月発行) 2017 vol.3



看護学校入学式

看護学校に入学して

新入生の皆さんへ

入学生代表 附属看護学校 14回生 平野愛弓

3年生代表 附属看護学校 12回生 飯塚麻美

私たち14回生32名は、4月6日に福島病院附属看護学校に入学しました。入学後は、新しい生活が始まったことや、友達と早く打ち解けられるか不安がありました。しかし、クラス全体がとても明るく賑やかな雰囲気であり、短期間で距離を縮めることができました。また、本格的に授業や委員会活動が始まったことで、看護学生としての自覚も芽生えてきました。クラス目標を「万里一空」とし、目的ややるべきことを見失うことなく、学習や実習、学校行事に全力で取り組んでいきたいです。これからは、楽しいことだけではなく、辛いこともあると思います。どんな時も互いに支え合い、切磋琢磨して、クラス全員で乗り越えたいです。

14回生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんと一緒に学べることを嬉しく思います。本校は、先生や講師の方々の手厚いご指導の下、より専門性の高い知識や技術を身に付けることができます。そして、様々な施設での実習において専門的な領域を学び、より自分の看護観を更に深めることができます。また、学校生活では学生が主体となる行事やボランティア活動が盛んで、学年や年代を超えた親交を通してより充実した時間を過ごせます。同じ目標を持つ仲間と支え合い、切磋琢磨できる環境下で私自身とても有意義な毎日を過ごしています。皆さんが辛い時、不安な時は私達が精一杯応援します。同じ夢に向かって一緒に頑張っていきましょう。



本号のご案内

- 看護学校入学式 1
- 職員紹介 人事のご案内 4
- 永年勤続表彰式について 2
- メンタルヘルス研修会について 6
- 看護部だより 北海道東北グループ主催看護職員採用説明会に参加して... 2
- 健康プラザ 宇宙食から生まれた食品の衛生管理 6
- 療育だより 一年間の思い出のアルバム 3
- 地域医療連携室だより 4月から新たに重症心身障害者病棟が増設されました... 6
- 看護学校だより 交流会を通して 3
- NHO PRESS ～国立病院機構通信～について 7
- 外来担当医表 8

納得の医療で地域や社会に貢献

病院理念

福島病院では「納得の医療」で地域や社会に貢献を理念として掲げ、職員一同、●人間として対等な患者さんの目線に立ち、●分かり易い説明を行い、同意を得た上で、●安全・安心で質の高い、患者さんやご家族を始め、地域社会の方々、勿論病院職員など誰にでも納得していただける医療の提供を常に心掛けております。

永年勤続表彰式について

中材・手術室 看護師長 天野 邦子

4月10日(月)、永年勤続表彰式が行われました。今回の表彰者は、30年表彰が3名、20年表彰が3名でした。20年・30年と働き続けることができたのも、ひとえに諸先輩方のご指導や職場の皆様方の支えがあったからだと思います。心から感謝申し上げます。

20年前を振り返りますと、私事になりますが、平成16年福島病院と統合する前は、国立郡山病院で勤務しておりました。同敷地内には、桑の実という名前の保育園があり、保育士さんたちには本当に親身になって子供たちの面倒をみていただき、仕事と子育ての両立をすることができました。近年、保育園が不足し待機児童が多く、仕事が出来ない女性の方も多



いと聞きますが、私は、女性が働く職場としては、恵まれた環境だったと思います。今後は、



更にワークライフバランスの充実に向けて職場のスタッフが働きやすい環境づくりを支援していかなければならないと思っております。

今後も看護の仕事が続けていく上で、看護師としての倫理を大切に、対象となる人々の人権を尊重し看護の実践に当たっていきたいと思います。

看護部だより

北海道東北グループ主催看護職員採用説明会に参加して

教育担当看護師長 菅原 由香里

4月15日(土)に仙台国際センターで行われた「北海道東北グループ主催看護職員採用説明会」に、滝口副看護部長、渡邊庶務班長、先輩ナースとして1病棟の猪狩有紀さんと私の4人で参加してきました。説明会には、北海道東北グループの施設以外に関東信越グループからも来ており、各施設とも学生を呼び込む工夫が満載で、学生獲得に向けての意気込みを感じました。同時に「負けたくない!」という思いもふつつつと湧いてきました。

今年度から周産期がなくなり、どれくらいの方が説明を聞きに来てくれるのか心配でしたが、結果的には約30の方が来てくれ、私と猪狩さんで説明を担当しましたが、2人では不足、副看護部長さんも説明をするほどでした。これには渡邊班長さんが上手に学生さんを誘導して、とにかく椅子に座らせるという陰の活躍があったからこそです。多くは福島病院附属の学生さんでしたが、中には山形・仙台・水戸などからも説明を聞きに来てくれました。先輩ナースとして、猪狩さんも明る

く対応してくれ、患者さんへの想いや研修の大切さを丁寧に伝えてくれました。きっと、その思いは学生さん達に伝わったと思います。

全体的には、とても活気のある説明会であり、次年度に向け、当院の特色を出し、学生が寄ってみたいくなる工夫をどんどんしていきたいと思いました。



去る3月に当院重症心身障害病棟では平成28年度の活動を皆さんでふりかえり楽しんでいただく行事「思い出のアルバム」を実施しました。日々撮りためてきた活動の写真を大きなスクリーンに映しだし、スライドショー形式で上映会を行いました。「あの時こんな活動をしましたね!」「楽しかったですね!」と保育士のアナウンスで盛り上がりました。

また、昨年10月に重症心身障害病棟として運営を開始した第6病棟では10月からの思い出のアルバムに加え、すごろくを使ったゲーム形式で思い出をたどりました。参加されたご家族から「笑顔を久しぶりに見ることができた。」「いろいろな行事に参加していたのだね。」と喜びの声を聞くことができました。時間の都合上一部の写真での上映でしたが、普段どのような事しているのかお見せすることができてよかったですと感じました。

どの行事でも笑顔が溢れていますが、記録した笑顔を

家族と共有できる「思い出のアルバム」、これからも大事にしていきたいです。

また、私たちは常に様々な場面で写真を撮影していますので、今回の行事以外にも、これらの写真を活用して様々な機会にご家族と共有して患者様の普段の様子を知っていただきたいと思います。



満開の桜が咲く4月21日、須賀川アリーナで全学年交流会を開催しました。1年生から3年生までの全校生徒と教員とが交流を図り、絆を深めることを目的としている行事です。各学年が混合したグループ対抗で、バレーボールや二人三脚、借り物競争といった競技を行い、仲間として協力して順位を競い合いました。また、競技だけではなく、各グループの個性を活かした仮装でアピールタイムを行いました。他種目とは別枠で仮装賞を設けていたため、アピールタイムでは、自分達のグループの特徴を最大限に披露し、会場は一層盛り上がりを見せて

いました。この日一番の盛り上がりは、最終競技である借り物競争でした。ラストは高得点で逆転のチャンスであったため、それぞれのグループも気合十分で競技に挑みました。競技中は会場全体に応援の音が響き渡り、誰もが笑顔で一生懸命に取り組んでいました。グループが違っても、一人一人がお互いに支え合ってゴールする姿は、全学年の絆がより強まったように感じられました。この交流会での繋がりや経験を通して、これからも看護学生として、日々の学びに努めていきたいと思っています。



職員紹介

人事のご案内



経営企画室長

中嶋勝信 (なかじま かつのぶ)

- 出身地：宮城県大崎市
- 所属：事務部
- 趣味：楽天イーグルス応援、園芸

●コメント：

4月に山形病院から異動してきました。

福島病院は2度目の勤務となりますが、今回は17年前であり、病院はもとより周辺的环境も変わってしまいビックリしております。今年は診療機能転換という重要な年でありますので、一日でも早く病院運営に貢献できるよう頑張りたいと思います。



庶務班長

渡邊貴将 (わたなべ たかみつ)

- 出身地：福島県福島市
- 所属：事務部
- 趣味：音楽鑑賞

●コメント：

4月に岩手病院から移動して参りました。福島病院は2度目の勤務ですが、重症児病棟が新しくなっているなど、まだまだ戸惑いながらの状況です。一日も早く業務に慣れ、病院の変化に乗り遅れることのないように頑張りますので、よろしくお祈りいたします。



薬剤師

千葉慧 (ちば あきら)

- 出身地：岩手県奥州市
- 所属：薬剤科
- 趣味：バドミントン、スノーボード

●コメント：

今年4月から新人の薬剤師として勤務させていただきます、千葉慧と申します。福島県には、友人が一人しかいないため普段は人と遊ぶことのない毎日を過ごしております。仕事を行うのは初めてなので、まだまだ社会人としても新米で、至らないところが多くご迷惑をお掛けすると思いますが、よろしくお祈り申し上げます。



理学療法士

小田拓也 (おだ たくや)

- 出身地：山形県酒田市
- 所属：リハビリテーション科
- 趣味：音楽鑑賞

●コメント：

今年度4月から入職した小田拓也と申します。社会人1年目なのでわからないことがたくさんありますが患者さんのために積極的に学び、学んだことを活かすように頑張りたいと思います。そのためにも早く新しい職場と生活の環境に慣れていきます。皆様これからよろしくお祈りいたします。



保育士

大山祥子 (おおやま しょうこ)

- 出身地：宮城県
- 所属：療育指導室
- 趣味：部屋掃除

●コメント：

本年4月より福島病院で勤務しております。須賀川市は穏やかな街並みに、過ごしやすい気候ということもあり楽しく生活することができています。福島病院の患者様方は皆様とても元気で明るく、圧倒されてばかりの毎日ですが早く仕事を覚え、より良い療養生活を提供させて頂けるよう努めていきますのでよろしくお祈りいたします。



保育士

鈴木遥香 (すずき はるか)

- 出身地：山形県長井市
- 所属：療育指導室
- 趣味：映画ドラマ鑑賞

●コメント：

この度あきた病院より異動し、6病棟の配属となりました。初めての転勤に初めての福島での生活と不慣れなことも多くありますが、明るく元気に頑張ります。福島のおいしいもの観光地をぜひ教えてください。福島病院のスタッフと職種の垣根を超え楽しくできたらと思います。よろしくお祈り致します。



調剤主任
関根 隆史 (せきね たかし)

- 出身地：福島県
- 所属：薬剤科
- 趣味：ドライブ、釣り

●コメント：

米沢病院から異動して参りました。釣りが趣味（初心者レベル）のため、お薦めのポイントがあったら教えてください。6年前に弘前病院に転勤となり福島病院での勤務は2度目となりますが、以前勤務していた時よりも貢献できるように頑張りますので、今後とも宜しくお願い致します。



運動療法主任
山内 拓野 (やまうち たくや)

- 出身地：岩手県大船渡市
- 所属：リハビリテーション科
- 趣味：彫金、料理

●コメント：

八戸病院から転任してきました。転任場所は岩手県・宮城県・青森県・福島県と4県目になります。これまで、仕事以外でトレーナー活動・訪問リハビリテーションの手伝いをしていた事があります。福島県は来た事が無いのでこれから色々覚えていきたいと思ひます。よろしくお祈り致します。



作業療法士
鈴木 祥子 (すずき しょうこ)

- 出身地：福岡県福岡市
- 所属：リハビリテーション科
- 趣味：音楽鑑賞

●コメント：

製薬会社に勤める父の転勤で、九州から北海道まで移り動きました。知らない土地に行つて知らない事を色々知り、勉強になりました。重症心身障害と発達障害分野への就職先が少なく、携わりたくても携われない人がいる中で、私は貴重な経験が積めるので、使命感を持って頑張つていきたいと思ひますのでどうぞよろしくお祈りいたします。



児童指導員
二藤部 菜実 (にとうべ なみ)

- 出身地：山形県小国町
- 所属：療育指導室
- 趣味：ウィンタースポーツ

●コメント：

昨年の3月まで期間職員として約一年間、山形病院で勤務しておりました。今回、新採用として4月より福島病院に勤めさせていただいております。患者様と楽しい時間を共有し、思い出をたくさん作つていきたいと思ひます。心機一転、新しい土地で頑張りますのでどうぞよろしくお祈り致します。



保育士
小室 美佳 (こむろ みか)

- 出身地：福島県玉川村
- 所属：療育指導室
- 趣味：読書、散歩

●コメント：

今回、保育士として新採用となり、4月より5病棟配属となりました。地元である福島病院で働き、地域の医療や福祉に携われることをとても嬉しく思ひます。病棟にいらつしやる皆さんが毎日明るく楽しく過ごせるよう、また、病院の発展のため、保育士として何が出来るのかを常に考えながら日々努力していきたいと思ひます。



契約係
成田 麗 (なりた うらら)

- 出身地：青森県五所川原市
- 所属：事務部
- 趣味：カフェめぐり、御朱印集め

●コメント：

4月から福島病院に新規採用になりました成田と申します。社会人一年目で戸惑うことがあるかと思ひますが、皆様からたくさん吸収して成長していきたいです。福島病院の経営に少しでも貢献できるよう努力してきますので、どうぞよろしくお祈りいたします。

メンタルヘルス研修会について

診療部長（消化器内科医師） 安田 千尋

平成 29 年 2 月 6 日及び 3 月 7 日に、当院のカウンセラー車田文雄氏を講師に迎え、メンタルヘルス研修会が開催されました。当院でも昨年からストレスチェック制度が導入され、職員各個人宛てにストレスチェック結果報告が届けられた所です。メンタルヘルスケアにはセルフケア・ラインケア・事業場外資源によるケアがありますが、今回は、おもにセルフケアについての講演でした。言葉の重要性（言葉から行動・習慣・生活・人生が作られる）、アサーティブな態度（私も OK、あなたも OK な関係を作る態度）などについて講演があり、その後、グループワークがありました。研修会終了時には、参加者全員が笑顔になり、職場でのストレスが軽減されたように思われました。ストレスによって病的な状態ならないためには、まずストレスを受けていることを自覚し、ストレスを溜め込まないで、こまめに発散する自分なりの方法を見つけ出して、ストレス発散することがベストと思われます。時には、カウンセラーや産業医に

相談してみるのも良いでしょう。本年度も、改めてストレスチェックがあり、皆さんの手元に結果が届くと思います。これを機会に自分の状態を見直して、ストレスと上手に付き合えるようにしましょう。本年度も、メンタルヘルス研修会が開かれる予定ですので、ぜひ参加下さいますようお願い申し上げます。



健康プラザ

宇宙食から生まれた食品の衛生管理

栄養管理室 栄養士 柴田 元

宇宙飛行士たちの食事はすべて地球で作ってロケットに積んで持っていきます。狭いロケットの中で、しかも宇宙で食中毒になったら大変です。そこで NASA は食品の安全性を確保するための方法を考えました。それが HACCP（危害分析重要管理点）という方法です。

危害分析（HA）とは食品と調理過程のどこで食中毒菌の汚染・増殖が起こるか、それを防ぐにはどういう手段があるかを考えることを言います。重要管理点（CCP）とは食品の調理・保存の際に特に注意を払うべきポイントの事を言います。

HACCP は家庭で行う調理でもその考え方の基本は同じです。

危害分析（HA）

- ・購入した食品はすぐに冷蔵庫・冷凍庫に入れる。
- ・生の肉・魚・卵を触れた手で、野菜や他の食品に触らない。
- ・調理前の食品や調理後の料理を常温で放置しない。

重要管理点（CCP）

- ・冷蔵庫を 10℃以下、冷凍庫を - 15℃以下の温度で食品を管理・保管する。
- ・加熱する食品は十分に加熱する。（中心温度 75℃以上）

上記を参考にご家庭でも HACCP を行ってみてください。食中毒菌は目で見ることはできません。しかし、目に見えなくても簡単な方法をきちんと行えば食中毒を防ぐことができます。今年も徐々に暑くなってきています。家庭でも日頃から食中毒の予防に努めましょう。



当院の、重症心身障害児(者)病棟は、2ヶ病棟(120床)で運営しておりましたが、昨年10月から3ヶ病棟(164床)に増床して患者様を受け入れております。医師と理学療法士等による専門的医療やリハビリテーションの実施、看護師・療養介助員による専門的看護や介護、児童指導員・保育士による療育指導、さらに障害福祉サービスのショートステイ事業利用相談等、患者様の安全・安心・満足につながる患者サービスの提供を心掛けております。

今後も、地域の医療機関や、保健福祉機関・児童相談所及び福祉施設などと連携を図りながら、地域の皆様方のお役に立てるように努力していきたく思っております。

詳しくは

● 地域医療連携室まで

● TEL. 0248-75-2279 (直通番号)

FAX. 0248-75-2569

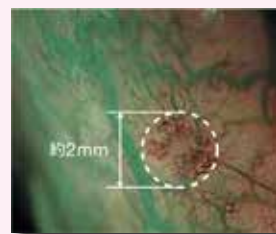
(平日の8:30～17:00までにお電話ください。)

● 内視鏡室に新しい機器が導入されました ●

当院では、毎週木曜日に内視鏡検査を行っておりますが、更に精度の高い狭帯域光拡大内視鏡検査(NBI 拡大内視鏡検査)ができるようになりました。

NBIとは、毛細血管の集まりやそのパターンなどが鮮明に表示され拡大内視鏡と併用することにより早期癌の診断能力向上が期待されております。

今後も、より安全・安心な内視鏡検査・治療を提供させていただきます。



NBI 画像



通常光画像

写真提供オリンパス株式会社

NHO PRESS ～国立病院機構通信～について

福島病院は、国立病院機構(NHO: National Hospital Organization)という143の病院からなる国内最大級の病院ネットワークの病院です。

国立病院機構(NHO)という病院ネットワークが、どのようなグループでどのような活動をしているのかを紹介する『NHO PRESS～国立病院機構通信～』を発行しています。受付や待合室に設置していますので、ぜひご覧になってください。

なお、ホームページに最新号と過去のものに掲載していますので、そちらもぜひご覧になってください。『NHO PRESS』で検索してください。



NHO PRESS

検索



QRコード

●外来担当医表●

外来担当医は都合により変更となる場合がありますので、ご了承ください。

【平成29年5月22日より】

区	分	月	火	水	木	金
内科	1	安田千尋	安田千尋	小杉茂	大戸斉※	安田千尋
内科	2	佐藤由紀夫 (第3)			山根完二	
検査					安田千尋	
神経内科		熊谷智広 (第3)				
小児科		石井勉(2・4) 福島医大	氏家二郎 勉	廣瀬千穂	氏家二郎 大	河原田勉
専門外来 (発達小児クリニック)			氏家二郎 勉			河原田勉
専門外来 (小児神経外来)		平山恒憲 (第2)			石井希代子(1・3・5) 加藤朝子(2・4)	
専門外来 (小児循環器外来)				桃井伸緒 (第2・4)		
小児専門外来		予防接種 (午後)		予防接種 (午前・午後)		
整形外科		古川浩三郎(予約制)				
小児外科			清水裕史 (第1・3)		山下方俊 (第2・4)	
小児心療内科						星野仁彦 (月1回)
脳神経外科			福島医大 (第2・4)			

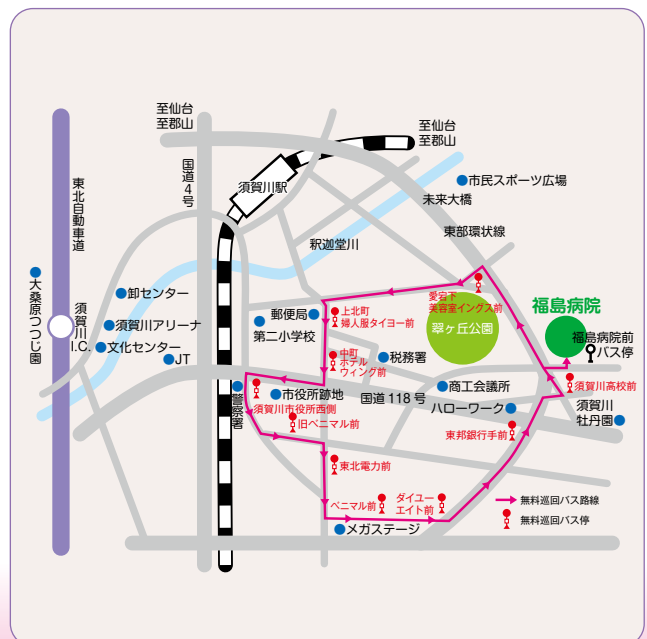
- ※神経内科、小児神経外科、小児心療内科は再来のみとなります。
- ※大戸斉先生の診療日についてはお問い合わせください。
- 外来受付時間は8:30～11:00までです。急患については随時受付いたします。
- 外来担当医表は平成29年5月22日時点のものです。その後担当医が変更になっている場合もありますので、当院ホームページ、院内掲示等をご確認下さい。

●4月から専用ダイヤルができました●

診療のお問い合わせ・ご相談(月～金 8:30～17:15)
 診療の予約・変更等(月～金 13:00～17:00)
専用ダイヤル 0248-75-2259

●編集後記●

出会いの季節、新年度がスタートしました。新年度初めは、今の自分を見つめ直す良い機会になれば良いと思っています。新しい仲間共々(新規採用者・転入者合わせて12名)、よろしくお願い致します!(編集委員 N)



Fukushima National Hospital
 独立行政法人国立病院機構

福島病院

〒962-8507 福島県須賀川市芦田塚13番地
 ☎0248-75-2131 (代表)

<http://fukushima-hosp.com/>